

会議録

会議の名称	平成22年度 第7回環境審議会
開催日時	平成23年2月18日（金曜日） 14時00分から16時00分まで
開催場所	エコプラザ西東京 講座室2
出席者	委員：赤司委員、勝村委員、清水委員、田辺委員、齋藤委員、大森委員、御所窪委員 事務局：小関環境保全課長、田中環境計画係長、佐藤（理）主事、佐藤（奈）主事
議題	1 開会 2 議題 （1）組織作り・連携の方向性について 答申案 （2）その他 3 閉会
会議資料の名称	資料No.1 環境審議会 答申案 資料No.1-2 環境審議会 答申案についての意見（修正案） 資料No.2 組織体制イメージ図 資料No.3 環境審議会 答申案・修正案対照表
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>1 開会 本日は豊永委員、前島委員、佐々木委員が都合により欠席。</p> <p>○会長： 本日提示した答申案は、前回指摘を受けた部分について議事録に基づき修正し、さらに、大森委員、清水委員より提案のあった事項を一部取り入れて作成した。本日の審議会では、異論がある場合はその場で議論・修正を行い、まとめ、後日清書したものを各委員に送付し、確認をした上で市長に答申したい。</p> <p>2 議題 （1）組織作り・連携の方向性について 答申案</p> <p>○会長： （資料No.1-2を説明）</p> <p>（意見交換）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5ページのイで、講座や講習会等を求めるのを「事業者」のみに限定せず、市民団体、大学等も入れるべきではないか。 ・4ページの（2）、3の「民間（環境団体、事業者、農業関係者、大学等）代表」という表現にそそえて、「民間関係者」といった表現に変えてみてはどうか。 ・4ページ（2）の3の環境保全推進協議会の構成メンバーに市議会議員も入れてはどう 	

か。フランクフルトのボーマンという環境都市では、街づくりの際に行政と市議会議員と市民が協力してうまく作ったという事例がある。また、西東京市でも、都市計画課の審議会には議員が入っている。

- ・情報を共有するだけでも議員が入るメリットはある。
- ・附帯意見の8は最も重要なので、附帯意見ではなく、5ページ（2）のイの下に審議会の結論の結びとして入れてはどうか。
- ・資料No. 2において、環境保全推進協議会の役割が「環境基本計画・地球温暖化対策地域推進計画等の進捗管理」となっているが、本文と同じ「環境基本計画・地球温暖化対策地域推進計画等の施策推進方針等の協議」という表現に直すべきである。
- ・図の中にNPOや環境団体、ゆめこらぼ等の項目が多すぎて、大学が埋もれてしまっている。
- ・無理に図の中に入れようとせず、市民、事業者、NPO、学校、地域、行政の6つ程度に絞ってはどうか。
- ・図の下の部分に「事業毎に関係者によるプロジェクト会議を立ち上げる」とあるが、答申案本文には関連する文章が書いていないので、はずすか附帯意見に入れるべきである。

（質疑応答）

○委員質問1：

2ページ（4）について、行政とは学校も含まれるのか。学校で環境施策をやろうとしても、現場の校長の判断に委ねる場合が多く、あまりうまく浸透していかないように感じる。答申案において、学校の位置づけが曖昧である。

○事務局：

学校は独立した組織として考えて、行政には含まれないので、答申案の附帯意見に小・中学校の役割について追加してはどうかと思う。

○委員質問2：

附帯意見の6は可能か。

○事務局：

今すぐには難しいが、可能である。

○委員質問3：

答申をした後はその答申にそってどのように動いていくのか、見通しが知りたい。

○事務局：

予算が伴うものであるかどうかで異なるが、予算が必要であれば、補正予算で補うか、その翌年度の当初予算に組み込めるようになるまで検討を続けていく、という形となるのが課題である。動き出してしまえばその中で考えながら修正を続けていく。

（2）その他

- ・修正答申案を各委員に送付し、確認後市長に答申することとし、今回の諮問について

の審議を終了した。

- ・次年度は、今回の答申を受けた25年度の環境基本計画改訂の準備期間にあたるため、諮問事項は未定であるが、状況を報告することになる。
- ・詳細は別途連絡する。

3 閉会

以上